



## 2021春闘シリーズ⑥

# 定期昇給昇給係数2がもたらす意味と影響とは？

## 20歳係職の場合年間30,000円 生涯賃金で1,330,000円を失った？

賃金引き上げ要求に対して会社は組合要求であった定期昇給実施と昇給係数を4とすることに対して、定期昇給実施は行うものの昇給係数は要求の半分となる2とする回答を行いました。

この回答が20歳の係職1等級で考えた場合、将来にわたって及ぼす影響額は、昇給係数が4である時の昇給額が4000円なので半分の2000円となります。年間で見ると12カ月+期末手当4.6ヶ月（今年度実績）で計算すると33,200円となります。現在の定年である60歳まで働いた場合で計算すると1,328,000円もの金額を失ったこととなります。

## 定期昇給によって鉄道業は支えられてきた！

基本給は超勤手当・夜勤手当算出にも影響を及ぼし退職金にも大きく影響し、生涯賃金はこれ以上に影響を及ぼします。

鉄道の安全はマニュアルでは守れません。経験により培った技術と知識により守られ、その意味からも定期昇給を4係数実施する必要性があり、JR発足以降34年間途切れることなく守られてきました。変わったのは会社なのか、働く私たちなのか今こそ職場から議論を創り出そう！

## 要求できるのは労働組合だけ！東日本ユニオンに加入しよう！